

龍谷大学  
大学院実践真宗学研究科紀要  
創刊号

2012年度

龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要編集委員会

## 目 次

## 序 言

- 創刊に寄せて……………川添泰信（ i ）  
 実践真宗学研究科開設から実動まで……………内藤知康（ iii ）

## 特別講義

- 実践真宗学研究科へ期待すること……………大谷光真（ 1 ）  
 大平光代先生に聞く（一）—現代における宗教と社会の問題—  
 ……………大平光代（ 11 ）

## 公開シンポジウム

- 現代の医療と宗教・仏教……………早島 理・池永昌之・田畑正久（ 35 ）  
 吾勝常行（司会）

- 修士論文要旨・研究報告書要旨一覧（題目一覧）……………（ 61 ）

- 修士論文要旨・研究報告書要旨……………（ 62 ）

- 彙 報……………（ 177 ）

2009～2011年度 大学院 実践真宗学研究科 開講科目一覧

2009～2011年度 大学院 実践真宗学研究科 活動報告

龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要内規

彙報

2009年度 大学院 実践真宗学研究科 開講科目一覧

〈基礎研究科目〉

実践真宗学総合演習Ⅰ(ア)	田畑 正久	実践真宗学の方法
	深川 宣暢	
実践真宗学総合演習Ⅰ(イ)	清岡 隆文	真宗における援助的人間関係学
	吾勝 常行	
実践真宗学総合演習Ⅱ(ア)	清岡 隆文	真宗における援助的人間関係学
	吾勝 常行	
実践真宗学総合演習Ⅱ(イ)	田畑 正久	実践真宗学の方法
	深川 宣暢	
実践真宗学研究	川添 泰信	真宗実践の基本的理解
真宗教義学研究	内藤 知康	真宗教義
現代宗教論研究	武田 龍精	宗教と科学のあいだ
大乘仏教論研究	龍口 明生	大乘仏教の思想と展開
浄土教思想論研究	川添 泰信	浄土教義の特色について
現代社会論研究	亀山 佳明	現代社会と宗教
宗教心理学研究	高田 信良	宗教の心理学的解明
宗教教育学研究	海谷 則之	宗教教育の理論と実践
仏教伝道史研究	藤本 信隆	歴史のなかの宗教
真宗伝道史研究	杉岡 孝紀	浄土真宗と伝道
真宗教団論研究	龍溪 章雄	真宗教団の存在意義について
倫理学研究	丸山 徳次	生老病死の哲学・倫理学

〈専門研究科目(宗教実践活動分野)〉

布教伝道論研究	葛野 洋明	宗教的実践活動に関する基礎的な理論と方法
組織活動論研究	藤實 無極	「生きる喜びを与える組織」—ともにいのちかがやく世界へ—
情報メディア論研究	宮本 義宣	宗教における情報メディアの意味

文書活動論研究	安藤 章仁	真宗における文書伝道の意味と意義
都市開教論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
宗教法人運営論研究Ⅰ	山口 卓	現代社会における寺院（宗教法人）運営の 実践的研究
宗教法人運営論研究Ⅱ	龍山 俊暁	宗教法人運営の具体的事例研究

〈専門研究科目（社会実践活動分野）〉

真宗人間論研究	内藤 知康	真宗の人間観
生命倫理論研究	田畑 正久	仏教と縁起的生命倫理
共生論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
環境論研究	北川 秀樹	環境問題と人類の役割
平和論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
人権論研究	杉岡 孝紀	仏教の人権思想
臨床心理学研究	森田 喜治	臨床心理学の理解と実践上の基本問題
精神保健学研究	吉村 哲明	精神保健と宗教的癒し
発達心理学研究	滋野井一博	人間と成長・発達の諸問題
老年心理学研究	島田 修	老年期心性と仏教
人格心理学研究	—————	本年度休講（隔年開講）
心理療法学研究	吉川 悟	心理療法と真宗

2010年度 大学院 実践真宗学研究科 開講科目一覧

〈基礎研究科目〉

実践真宗学総合演習Ⅰ(ア)	田畑 正久 深川 宣暢	実践真宗学の方法
実践真宗学総合演習Ⅰ(イ)	清岡 隆文 吾勝 常行	真宗における援助的人間関係学
実践真宗学総合演習Ⅱ(ア)	清岡 隆文 吾勝 常行	真宗における援助的人間関係学
実践真宗学総合演習Ⅱ(イ)	田畑 正久 深川 宣暢	実践真宗学の方法

実践真宗学研究	川添 泰信	真宗実践の基本的理解
真宗教義学研究	内藤 知康	真宗教義
現代宗教論研究	武田 龍精	宗教と科学のあいだ
大乘仏教論研究	龍口 明生	大乘仏教の思想と展開
浄土教思想論研究	川添 泰信	浄土教義の特色について
現代社会論研究	亀山 佳明	現代社会と宗教
宗教心理学研究	高田 信良	宗教の心理学的解明
宗教教育学研究	海谷 則之	宗教と人間形成
仏教伝道史研究	藤本 信隆	近代アジアと仏教伝道
真宗伝道史研究	杉岡 孝紀	浄土真宗と伝道
真宗教団論研究	龍溪 章雄	真宗教団の存在意義について
倫理学研究	丸山 徳次	生老病死の哲学・倫理学（Ⅱ）

《専門研究科目（宗教実践活動分野）》

布教伝道論研究	葛野 洋明	宗教的実践活動に関する基礎的な理論と方法
組織活動論研究	藤實 無極	「生きる喜びを与える組織」—ともにいのちかがやく世界へ—
情報メディア論研究	宮本 義宣	宗教における情報メディアの意味
文書活動論研究	安藤 章仁	真宗における文書伝道の意味と意義
都市開教論研究	西原 祐治	都市における浄土真宗の伝道の実践
宗教儀礼論研究	小野 真	宗教儀礼の諸相と意義
仏教音楽論研究	小野 真	宗教における音楽の意義と意味
寺院活動論研究	矢田 了章	寺院活動の教学的根拠とその具体的検討
宗教法人運営論研究Ⅰ	山口 卓	現代社会における宗教法人（寺院）運営の実践的研究
宗教法人運営論研究Ⅱ	龍山 俊暁	宗教法人運営の具体的事例研究
宗教実践特殊研究（A）	深川 宣暢	マスコミにおける宗教情報の研究
宗教実践特殊研究（B）	清岡 隆文	真宗実践の原理的考察
宗教実践特殊研究（C）	葛野 洋明	宗教実践活動の理論と方法
宗教実践特殊研究（D）	ヒロタデニス	中世の中の親鸞思想
宗教実践特殊研究（E）	赤松 徹眞	宗教・仏教の実践的有り様と国家・社会・人間との歴史的関係性

宗教実践特殊研究 (F)	上田 紀行	現代における寺院の意義とその可能性
宗教実践特殊研究 (G)	仲山 豊秋	言語表現と宗教
宗教実践演習 I (A)	深川 宣暢	真宗伝道の基本理念
宗教実践演習 I (B)	清岡 隆文	蓮如にみられる真宗実践の方法と意義
宗教実践演習 I (C)	葛野 洋明	国内外の布教伝道の実践的側面に関する課題とその研究
宗教実践演習 II (A)	深川 宣暢	真宗伝道の種類と方法
宗教実践演習 II (B)	清岡 隆文	真宗と妙好人の実践
宗教実践演習 II (C)	葛野 洋明	布教伝道の実践的側面を取り上げ、国内外の宗教実践の諸課題に関する研究指導を行う

〈専門研究科目 (社会実践活動分野)〉

真宗人間論研究	内藤 知康	真宗の人間観
生命倫理論研究	田畑 正久	仏教と生命倫理
共生論研究	土屋 和三	宗教と共生的環境創生
環境論研究	—————	本年度休講 (隔年開講)
平和論研究	杉岡 孝紀	宗教と平和問題
人権論研究	—————	本年度休講 (隔年開講)
ビハーラ活動論研究	鍋島 直樹	仏教の死生観と超越
カウンセリング論研究	友久 久雄	宗教とカウンセリング援助技術
地域活動論研究	窪田 和美	寺院活動と地域社会
生涯学習論研究	持田 良和	寺院と学習活動
臨床心理学研究	森田 喜治	臨床心理学の理解と実践上の基本問題
精神保健学研究	—————	本年度休講 (隔年開講)
発達心理学研究	滋野井一博	人間と成長・発達の諸問題
老年心理学研究	—————	本年度休講 (隔年開講)
人格心理学研究	吉川 悟	人格変容の問題と宗教
心理療法学研究	—————	本年度休講 (隔年開講)
矯正論研究	石塚 伸一	刑事施設における犯罪者の社会復帰
更正保護論研究	浜井 浩一	更生保護と宗教
市民活動論研究	高橋 卓志	寺院と市民活動……協働への模索
地域環境論研究	竺 文彦	環境問題と人間の共存

社会福祉施設論研究	清水 教恵	社会福祉と仏教者
ボランティア活動論研究	古川 秀夫	ボランティア活動の社会的意義
非営利非政府組織論研究	古川 秀夫	非営利組織と宗教
子供社会学研究	中根 真	子供社会と宗教の関わり
社会実践特殊研究 (A)	龍溪 章雄	近代仏教の社会実践運動
社会実践特殊研究 (B)	吾勝 常行	仏教とカウンセリング
社会実践特殊研究 (C)	ヒロタデニス	諸仏教伝統と現代社会実践
社会実践特殊研究 (D)	金児 暁嗣	日本人の宗教性と真宗の信仰
社会実践特殊研究 (E)	田中 教照	社会の諸問題と仏教の現代的意義
社会実践特殊研究 (F)	長崎 陽子	福祉実践のための理論研究
社会実践演習 I (A)	田畑 正久	医療・看護・福祉の諸課題と宗教
社会実践演習 I (B)	吾勝 常行	ビハーラ・カウンセリングの基礎
社会実践演習 II (A)	田畑 正久	医療と宗教の協力関係について
社会実践演習 II (B)	吾勝 常行	ビハーラ・カウンセリング

### 2011年度 大学院 実践真宗学研究科 開講科目一覧

#### 〈基礎研究科目〉

実践真宗学総合演習 I (ア)	田畑 正久 深川 宣暢	実践真宗学の方法
実践真宗学総合演習 I (イ)	清岡 隆文 吾勝 常行	真宗における援助的人間関係学
実践真宗学総合演習 II (ア)	清岡 隆文 吾勝 常行	真宗における援助的人間関係学
実践真宗学総合演習 II (イ)	田畑 正久 深川 宣暢	実践真宗学の方法
実践真宗学研究	川添 泰信	真宗実践の基本的理解
真宗教義学研究	内藤 知康	真宗教義
現代宗教論研究	武田 龍精	宗教多元主義とは何か
大乘仏教論研究	龍口 明生	大乘仏教の思想と展開
浄土教思想論研究	川添 泰信	浄土教理史の基本的研究

現代社会論研究	原田 達	亡霊と記憶、罪と赦しの現代
宗教心理学研究	高田 信良	宗教の心理学的解明
宗教教育学研究	海谷 則之	宗教と人間形成
仏教伝道史研究	藤本 信隆	アジア仏教の近現代史の学びから伝道の課題を考える
真宗伝道史研究	杉岡 孝紀	浄土真宗と伝道
真宗教団論研究	龍溪 章雄	真宗教団の存在意義について
倫理学研究	丸山 徳次	生老病死の哲学・倫理学（Ⅲ）

〈専門研究科目（宗教実践活動分野）〉

布教伝道論研究	葛野 洋明	宗教的実践活動に関する基礎的な理論と方法
組織活動論研究	藤實 無極	「生きる喜びを与える組織」—ともにいのちかがやく 世界へ—
情報メディア論研究	宮本 義宣	宗教における情報メディアの意味
文書活動論研究	安藤 章仁	真宗における文書伝道の意味と意義
都市開教論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
宗教儀礼論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
仏教音楽論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
寺院活動論研究	矢田 了章	寺院活動の教学的根拠とその具体的検討
宗教法人運営論研究Ⅰ	山口 卓	現代社会における宗教法人（寺院）運営の実践的研究
宗教法人運営論研究Ⅱ	保瀬 祐尚	宗教法人法と宗門法規の比較検討
宗教実践特殊研究（A）	深川 宣暢	マスコミにおける宗教情報の研究
宗教実践特殊研究（B）	清岡 隆文	『御伝鈔』と覚如上人の伝道
宗教実践特殊研究（C）	葛野 洋明	宗教実践活動の理論と方法
宗教実践特殊研究（D）	ヒロタデニス	「真宗と正義」
宗教実践特殊研究（E）	中西 直樹	近代社会の諸課題と真宗
宗教実践特殊研究（F）	上田 紀行	現代における寺院の意義とその可能性
宗教実践特殊研究（G）	仲山 豊秋	音声表現スキルの獲得
宗教実践演習Ⅰ（A）	深川 宣暢	真宗伝道の基本理念
宗教実践演習Ⅰ（B）	清岡 隆文	蓮如にみられる真宗実践の方法と意義



宗教実践演習Ⅰ（C）	葛野 洋明	国内外の布教伝道の実践的側面に関する課題とその研究
宗教実践演習Ⅱ（A）	深川 宣暢	真宗伝道の種類と方法
宗教実践演習Ⅱ（B）	清岡 隆文	真宗と妙好人の実践
宗教実践演習Ⅱ（C）	葛野 洋明	布教伝道の実践的側面を取り上げ、国内外の宗教実践の課題に関する研究指導を行う
宗教実践演習Ⅲ（A）	深川 宣暢	真宗伝道の実践的研究
宗教実践演習Ⅲ（B）	清岡 隆文	法義談合を通しての真宗教義の確認
宗教実践演習Ⅲ（C）	葛野 洋明	布教伝道の実践的側面を取り上げ、国内外の宗教実践の課題に関する研究成果を結実させるよう指導を行う
宗教実践実習（A）	深川 宣暢	真宗伝道の実際
宗教実践実習（B）	清岡 隆文	真宗と布教
宗教実践実習（C）	葛野 洋明	受講生の研究テーマに即した実習を行う 実習の計画、実施、報告、発表、全体討議を通じて研究が深まるよう指導を行う

〈専門研究科目（社会実践活動分野）〉

真宗人間論研究	内藤 知康	真宗の人間観
生命倫理論研究	田畑 正久	生命倫理と仏教、浄土教
共生論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
環境論研究	北川 秀樹	環境問題と人類の役割
平和論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
人権論研究	杉岡 孝紀	仏教の人権思想
ビハーラ活動論研究	鍋島 直樹	仏教の死生観と超越
カウンセリング論研究	友久 久雄	宗教とカウンセリング援助技術
地域活動論研究	窪田 和美	地域における寺院活動を活性化するために
生涯学習論研究	持田 良和	寺院と学習活動
臨床心理学研究	森田 喜治	臨床心理学の理解と実践上の基本問題
精神保健学研究	吉村 哲明	精神保健と宗教的癒し
発達心理学研究	滋野井一博	人間と成長・発達の諸問題
老年心理学研究	島田 修	老年期心性

人格心理学研究	—————	本年度休講（隔年開講）
心理療法学研究	吉川 悟	心理療法と真宗
矯正論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
更正保護論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
市民活動論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
地域環境論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
社会福祉施設論研究	清水 教恵	社会福祉の現状と社会福祉施設
ボランティア活動論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
非営利非政府組織論研究	—————	本年度休講（隔年開講）
子供社会学研究	—————	本年度休講（隔年開講）
社会実践特殊研究（A）	龍溪 章雄	近代仏教の社会実践運動
社会実践特殊研究（B）	吾勝 常行	仏教とカウンセリング
社会実践特殊研究（C）	ヒロタデニス	「西洋における社会と仏教」
社会実践特殊研究（D）	金児 暁嗣	日本人の宗教性と真宗の信仰
社会実践特殊研究（E）	田中 教照	社会の諸問題と仏教の現代的意義
社会実践特殊研究（F）	長崎 陽子	福祉実践のための理論研究
社会実践演習Ⅰ（A）	田畑 正久	spirituality と私の課題
社会実践演習Ⅰ（B）	吾勝 常行	ビハーラ・カウンセリングの基礎
社会実践演習Ⅱ（A）	田畑 正久	修士課程修了の方向性の詰め
社会実践演習Ⅱ（B）	吾勝 常行	ビハーラ・カウンセリング
社会実践演習Ⅲ（A）	田畑 正久	各人の課題と念仏のいただき
社会実践演習Ⅲ（B）	吾勝 常行	ビハーラ実践活動
社会実践実習（A）	田畑 正久	各人の課題と念仏のいただき
社会実践実習（B）	吾勝 常行	ビハーラ・カウンセリング
真宗教団活動論（ア）・（イ）	義本 弘導	布教使資格に関する諸講義
	季平 博昭	
	宇野 哲哉	

**2009年度 大学院 実践真宗学研究科 活動報告**

- 龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義  
 講師：龍谷大学客員教授 大平光代氏  
 日程：2009年10月19日（月）13：00～15：00  
 於：ユニットピアささやま（篠山市）
  
- 龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 設置記念講演会  
 『実践真宗学研究科設置の意義』  
 講師：龍谷大学文学部教授（実践真宗学研究科長） 内藤知康氏  
 日程：2009年11月21日（土）11：30～12：30  
 於：大宮学舎 本館講堂

**2010年度 大学院 実践真宗学研究科 活動報告**

- 龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 公開講演会  
 『タイ仏教に生きる—日本人僧侶の実践活動—』  
 講師：アーチャン・ミツオ・カウエーサコ氏  
 日時：2010年5月13日（木）15：00～16：30  
 於：大宮学舎清和館3階ホール
  
- 救命講習会  
 日程：2010年7月7日 15：00～18：00  
 於：大宮学舎清和館3階大ホール  
 内容：応急手当（自動体外式除細動器（AED）取り扱いを含む）の実技講習
  
- 龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義  
 講師：龍谷大学客員教授 大平光代氏  
 日程：2010年10月25日（月）13：00～15：00  
 於：ユニットピアささやま（篠山市）

講義形式：前半部…質疑応答

後半部…対話形式

○国際交流会

日程：2010年10月27日（水）17：30～19：30

於：大宮学舎清和館 2階ホール

内容：ISJP（Interreligious Studies in Japan Program）に参加しているドイツからの留学生との交流会

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義

『実践真宗学研究科への期待』

講師：浄土真宗本願寺派門主 大谷光真氏

日程：2010年11月29日（月）10：45～12：15

於：大宮学舎清和館 3階ホール

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 公開シンポジウム

『現代の医療と宗教・仏教』

パネリスト：滋賀医科大学教授 早島理氏

淀川キリスト教病院ホスピス長 池永昌之氏

龍谷大学教授（大学院実践真宗学研究科） 佐藤第2病院院長 田畑正久氏

司会：龍谷大学文学部教授 吾勝常行氏

日程：2010年12月22日（水）15：00～17：50

於：龍谷大学 アバンティ響都ホール

## 2011年度 大学院 実践真宗学研究科 活動報告

○救命講習会

日程：2011年7月14日（木）15：00～18：00

於：大宮学舎清風館 3階 共同研究室 1・2

内容：応急手当（自動体外式除細動器（AED）取り扱いを含む）の実技講習

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義

講師：藪内家家元 藪内紹智氏

日程：2011年10月5日（水）15：00～17：00

於：藪内燕庵

内容：「本願寺と藪内家の歴史」という講題でご講演

その後、2班に分かれて茶道体験と茶室の見学

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 公開シンポジウム

『葬儀の今を考える～あなたはどうか見送り、どうか見送られますか～』

パネリスト：イオンリテール株式会社 イオンライフ事業部長 広原章隆氏

宗教法人 神宮寺住職 龍谷大学客員教授 高橋卓志氏

龍谷大学教授（大学院実践真宗学研究科） 佐藤第2病院院長 田畑正久氏

コーディネーター：龍谷大学文学部教授 深川宣暢氏

日程：2011年10月13日（水）15：00～17：50

於：龍谷大学 アバンティ響都ホール

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 実習報告会

日程：2011年11月2日（水）16：45～18：45

於：大宮学舎清風館地下1階101号室

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義

『宗教教育における実践について』

講師：元アメリカ仏教団開教総長 山岡誓源氏

日程：2011年11月16日（水）13：15～14：45

於：大宮学舎南齋204教室

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 宗教実践演習 特別講義

講師：本願寺派布教使課程専任講師 小林顯英氏

日程：2011年11月24日（木）15：00～18：15

於：浄土真宗本願寺派本願寺 安穩殿

講義内容：①本堂における法話の心得と作法

②実演試験における法話の心得と作法

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義

講師：龍谷大学客員教授 大平光代氏

日程：2011年12月5日（月）13：00～15：00

於：ユニトピアささやま（篠山市）

講義形式：前半部…講義

後半部…質疑応答

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義

『エンゲージド・ブッディズム』

—新たなグローバル仏教における社会活動と公共事業—

講師：ハーバード大学元教授 クリストファー・クイーン氏

日程：平成23年12月14日（水）3講時 13：15～14：45

於：大宮学舎清和館3階大ホール

○龍谷大学 大学院実践真宗学研究科 特別講義

『海外開教の実態』

講師：オレンジ郡仏教会開教使 原田マービン氏

日程：2011年12月20日（火）4講時 15：00～16：30

於：大宮学舎東翼304教室

○浄土真宗本願寺派布教使課程Bコース試験講習会

指導教員：深川宣暢、清岡隆文、葛野洋明、堀靖史

日程：2012年3月21日（水）9：00～17：00

3月22日（木）9：00～17：00

於：本願寺 伝道院

## 龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要内規

制 定 2012年11月7日

(目的と名称)

第1条 龍谷大学大学院実践真宗学研究科院生の学術研究を奨励し、その成果を発表する趣旨のもとに年1回これを発行する。

2 この学術雑誌は『龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要』(以下「紀要」という。)と称する。

(紀要の構成)

第2条 「紀要」には、論文その他の研究成果(以下「論文」という。)を掲載する。

(論文提出資格)

第3条 「論文」を提出できる者は次のとおりとする。

- (1) 大学院実践真宗学研究科在籍者。
- (2) 大学院実践真宗学研究科特別専攻生。
- (3) その他編集委員会が認めた者。

(編集委員会)

第4条 紀要の編集に関する事項を管掌するため、大学院実践真宗学研究科紀要編集委員会(以下「委員会」という。)をおく。

- 2 委員会の構成員は実践真宗学研究科委員会の構成員とする。
- 3 委員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員会に委員長をおく。委員長は委員の互選による。
- 5 委員会の招集は、委員長がおこなう。

(論文の掲載手続き)

第5条 「論文」は、委員会の定めた募集要項に基づき、本規程第3条に該当する者によりこれを公募する。

- 2 前項の「論文」はあらかじめ委員会の承認または推薦に基づき、委員会が査読し承認したものを掲載する。
- 3 「要旨」は、原則として前年度修士課程修了者全員の論文要旨を掲載する。

(事務)

第6条 紀要に関する事務は研究部(仏教文化研究所事務室)がおこなう。

付 則

第1条 この規程は、2012年11月7日より施行する。

## 【編集後記】

ここに『龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要』創刊号（第1号）を発刊いたします。この実践真宗学研究科は、建学の精神である浄土真宗の精神を基礎にして、広くは宗教が現実の社会の中にかに展開しているか、また今後いかにその役割を發揮できるかということ、より具体的にまた実践的な立場において研究・学修するために、2009（平成21）年に新たに開設された研究科です。

真宗学の分野は、大きくは真宗教義学、浄土教理史、真宗教学史、真宗伝道学という4分野においてとらえることができますが、その中の「真宗伝道学」の分野を中心に開かれたのがこの実践真宗学研究科です。

その研究科が2012（平成24）年の3月に初めての卒業生を出す運びとなり、それを機縁として院生の研究内容を中心に、研究科において行われた特別講義・シンポジウム等の内容を公にし、研究・教育をより充実させるために、この研究紀要を発刊することになった次第です。

本誌には許可をいただいて浄土真宗本願寺派御門主および大平光代先生、シンポジウムパネリストの早島 理・池永昌之・田畑正久各先生の講演録（文責・編集委員）を掲載できましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

また本誌に掲載された第1期卒業生の修士論文要旨は、今後の実践真宗学研究科の研究に資することにもなりましょう。この実践真宗学研究科の設立の意義は、たとえば10年後に、卒業生がそれぞれの分野で活躍しているところで評価されると思われま

す。研究科の今後の発展のためにもこの『研究科紀要』の発行をよろこび、ご協力いただいた方々への感謝とともに、ここにお届けいたします。（深川宣暢 記）

龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要編集委員会

委員長 川 添 泰 信

委員 龍 溪 章 雄・深 川 宣 暢

鍋 島 直 樹・杉 岡 孝 紀

なお、本紀要公開のための著作権等については、下記のごとく規定します。

## 記

龍谷大学大学院実践真宗学研究科の研究成果の公開方法として、本学を通じて電子化を実施する。掲載された論文等（本文、画像情報、書籍情報）の著作権は個人に帰属するが、電子化し公共の利用に供する場合、掲載された論文等の複製権（注1）、および公衆送信権（注2）の行使を本学大学院実践真宗学研究科紀要編集委員会に許諾することとする。

注1 複製権：著作物を有形化し、再製することに関する権利

注2 公衆送信権：著作物を公衆向けに「送信」することに関する権利



龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要 2012年度

創刊号

---

平成25年(2013)2月21日 印刷

平成25年(2013)2月28日 発行

編集 龍谷大学大学院実践真宗学研究科紀要編集委員会

600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町

125番地の1

TEL.075(343)3311 内5400

FAX.075(343)4022

印刷 河北印刷株式会社

# CONTENTS

## Opening Messages

- Reflection on the Inaugural Issue of the Bulletin of *the Graduate School of Practical Shin Buddhist Studies* ..... Taishin KAWASOE ( i )
- Designing and Implementing the Educational Program of the Graduate School of Practical Shin Buddhist Studies ..... Tomoyasu NAITO ( iii )

## Special Lecture

- My Hopes for the Graduate School of Practical Shin Buddhist Studies  
..... Koshin OTANI ( 1 )
- A Conversation with Visiting Professor Mitsuyo OHIRA  
— Contemporary Issues in Religion and Society —  
..... Mitsuyo OHIRA ( 11 )

## Public Symposium

- Modern Medical Practice, Religion, and Buddhism  
..... Osamu HAYASHIMA · Masayuki IKENAGA · Masahisa TABATA ·  
Tsuneyuki AKATSU (Chair Person) ( 35 )
- Thesis Title List ..... ( 61 )
- Thesis Abstracts ..... ( 62 )
- Reports ..... (177)

**RYUKOKU UNIVERSITY**

**BULLETIN OF THE GRADUATE SCHOOL OF  
PRACTICAL SHIN BUDDHIST STUDIES**

**No. 1**

**THE GRADUATE SCHOOL  
OF  
RYUKOKU UNIVERSITY**  
Kyoto, Japan